

小枝 繁昭 展

－ 月にうつる水 －

会期:2014年3月8日(土)～4月27日(日)

開廊時間:AM11:00～PM6:00

休廊:月曜・火曜・祝日

【展覧会概要】

小枝繁昭(1953～)は、絵画や版画作品とともに1980年代よりペインティングと写真を融合させた作品を制作し続けています。今展で展示の中心となる「花一眼差しのあいだー」と題されたプロジェクトは2003年より継続しているもので、一つひとつの作品には用いられた花の名前が付けられ、あわせて100作品(100華)を作り上げるというものです。作家は、数多くの花々を壁面や襖に整然と並べて描いた伊藤若冲の「花丸図」(金刀比羅宮奥書院上段の間)に触発され、このプロジェクトを開始し、現在およそ80作品が完成しています。これらの作品は、作家が面前の生花とガラス板を挟んで向き合い、対話するかのようにガラス板にペインティングを描くという独自の技法を用い、両者の緊張感を保ちながら生み出されていきます。「花との密会」ともいう時間のなかで作り出された作品は、花の持つ生命力や妖艶さを増して私たちの前に現れます。今展の「月にうつる水」という展覧会タイトルは、作家のアトリエがある比叡山から、琵琶湖の上に眺める美しい月に誘われるような感覚と、花々と向き合い自らの心を静かにしていく感覚を重ね合わせたところから付けられましたが、圧倒的な花の艶やかさが際立つプロジェクト開始時の作品から、花との静かで成熟した関係性へ向かっているような近作への変化も反映されているのではないのでしょうか。「100華」到達に向けて円熟を見せる同プロジェクトの最新作ラムダプリント10点をはじめ、ペインティングや塑造・陶(小品)の新作などおよそ20点を展示する新作個展を是非ご高覧下さい。

－ 月にうつる水 －

月が浮かぶ、湖東を照らしながらぼっかりと、光の道を湖面に敷き詰めながらゆっくりと。

私は京都と大津にまたがる比叡山の中腹に住んでいる。

西には京都の街を、東には琵琶湖と対岸に広がる近江平野を見下ろすことができる。

晩秋から冬にかけて、ここから眺める月の出はじつに美しい。

レンズの中の花をそっと覗き込む。

自分の中に“何か”が起こるまで、、、、。

自分は少しで、花がたくさんがいい。

自分の心を静かにすること。

月に誘われたときの感覚に似ている、花との密会。

小枝繁昭

【小枝繁昭（こえだ しげあき）略歴】

- 1953 京都に生まれる
1974 京都精華短期大学 絵画専攻科修了
1992 文化庁芸術家在外研修員ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ(英国)
1993 客員研究員 オックスフォード大学ラスキンスクール オブ ドローイング アンド ファインアート・ウォルフソンカレッジ
／オックスフォード近代美術館(英国)
1994 秀明文化賞受賞（秀明文化財団）

●近年の主な展覧会

- 1998 神奈川国際版画トリエンナーレ <東京国立近代美術館賞>（神奈川県民ホール）
1999 関西の戦後美術1950～1990（和歌山県立近代美術館）
2000 DOMANI 明日（安田火災東郷青児美術館）
2000年国際版画展（国立台湾芸術教育館・中華民国 / 神奈川県民ホール）
新収蔵作品展（東京国立近代美術館）
京都の美術・工芸-1986～2000-（京都文化博物館）
KYOTO版画2000（京都市美術館）
現代版画の軌跡—ゆめとめざめ—（和歌山県立近代美術館）
個展 —移ろふ物たち— コウイチ ファインアーツ（大阪）
2001 秀明文化賞10周年記念特別展（MIHO MUSEUM）
日本／ブルガリア現代版画展（ブルガリア国立ギャラリー／ブルガリア）
BHARAT国際版画ビエンナーレ（Roopankar美術館／インド）
個展 ギャラリーアパ（名古屋）
個展 —物たちの彼方へ— コウイチ ファインアーツ（大阪）
2002 個展 ヒロ・チカシゲ ギャラリー（岡山）
2003 ブルガリア現代版画と日本（山梨県立美術館）
京都・洋画の現在（京都文化博物館）
2004 美術百科—七つの鍵—（和歌山県立近代美術館）
個展 ‘花・眼差しのあいだ—Ⅰ’ アートゾーン神楽岡（京都）
所蔵作品展 近代日本の美術（東京国立近代美術館）
個展 ‘花・眼差しのあいだ—Ⅱ’ クリスタル画廊（盛岡）
個展 ‘花・眼差しのあいだ—Ⅲ’ ギャラリー—宇（那覇）
2005 新収蔵品展（山梨県立美術館）
コレクション展Ⅲ <館蔵版画大公開>（兵庫県立近代美術館）
美術百科「版画」の巻（和歌山県立近代美術館）
個展 ‘花・眼差しのあいだ—Ⅳ’ イムラアートギャラリー（京都）
2006 コレクション企画 現代版画の展開（京都国立近代美術館）
個展 —花・眼差しのあいだ—Ⅴ— White Gallery（鹿児島）
現代版画—写真の活用とイメージの変容（東京国立近代美術館）
個展 —花・眼差しのあいだ—Ⅵ— アートコートギャラリー（大阪）
日本の現代版画の祭典（レッセドラギャラリー／ブルガリア）
2007 個展 —花は花— アートゾーン神楽岡（京都）
美術百科・前衛の関西（和歌山県立近代美術館）
“From Kyoto to Krakow”（Manggha Centre of Japanese Art Technology／ポーランド）
個展—彼方に見えるもの— コウイチ ファインアーツ（大阪）
2008 絵筆のおしゃべり（北海道立近代美術館）
個展—ten shi huu hitsu— 鎌倉画廊（鎌倉）

京都ビエンナーレ 招待部門（京都文化博物館）

個展-彼方に見えるもの II- SPAZIO BRERA GINZA(東京)

2009 ドキドキ！アートのフシギ空間！（滋賀県立近代美術館）

PAIRS-ふたつあるからおもしろい- 鎌倉画廊(鎌倉)

2010 美術百科「ここはどこ」の巻（和歌山県立近代美術館）

“Magic of Japanese art prints”（クラコウ他巡回／ポーランド）

2011 ポップ？ポップ！ポップ♡（和歌山県立近代美術館）

個展 -森に木があるように- 鎌倉画廊(鎌倉)

2014 個展 -月にうつる水- 鎌倉画廊(鎌倉)

●パブリックコレクション

文化庁 / 大阪府立現代美術センター / 兵庫県立近代美術館 / 京都府 / SLASKIE美術館<ポーランド> / 京都国立近代美術館 / 滋賀県立近代美術館 / 和歌山県立近代美術館 / 北海道立近代美術館 / 京都府立総合資料館 / 秀明文化財団 / 台北市立美術館<中華民国> / オックスフォード大学ウォルフソンカレッジ<英国> / 東京国立近代美術館 / The Hood Museum of Art at Dartmouth College<米国> / The Worcester Museum of Art<米国> / 山梨県立美術館